

平成20年6月3日

学校だより

～ 塩っ子の夢と希望を育むために ～

No.3

高松市立新塩屋町小学校

TEL 851-2011

FAX 851-2059

e-mail e-sinsio@edu-tens.net

学級づくりを基盤においた本年度の重点！

校長 池田 保

先日のふれあい運動会での子どもたちの演技はいかがだったでしょうか。練習を重ね、自分たちで考え合った演技を友だちとともにしっかりと発表できたことは、運動への意欲や関心を高めるとともに、学級でのなかまづくりを進めていくといった視点で、子どもたちの成長を感じています。また、閉会式にも緊張感をもって臨み、最後の片付けまでそれぞれの役割を果たそうとする姿を見ることができうれしく思いました。保護者の皆様、地域の方々には、前日の雨天の中での準備や校内の環境整備を行っていただき、また、子どもたちの元気いっぱいの演技への拍手とご声援をいただき、誠にありがとうございました。

さて、平成20年度の塩っ子教育の重点については、平成21年度の中学校の統合及び平成22年度の小学校の統合、そして、平成23年度から完全実施（来年度より一部教科での先行実施）となる新しい学習指導要領の趣旨等をふまえ、別紙のように構想し、教育活動を進めているところです。その塩っ子教育の重点の概要をお知らせいたしますが、一日学習参観デーや行事等における子どもたちの学習や生活の様子を参観いただき、学校へのご意見をいただけたらと考えています。



子どもたちにとって学校生活のベースは、自分が所属する学級集団だといえます。そこで、認め合い・支え合うなかまづくりを核とし、「自分が好き」・「塩っ子のなかなが好き」といった子どもたちの姿を想定しての学級づくりを進めていきます。その際、①自立（自分でできることや自分の役割を果たす）②自己理解・相互理解に基づく望ましい集団づくり（自分や塩っ子のなかまのいいところを見つけ、学び合っていくなかま）③所属する集団への寄与（学級や学校のために自分は何ができるかを考え実行する、高

学年は下の学年のよき手本となる）ことを大切にしていきたいと考えています。（ ）内の表記は、始業式に子どもたちに話をした内容です。各学級においては、保護者の皆様の願いや子どもたちとの話し合いをふまえ、この学級づくりの象徴として学級旗を作成し、先日の運動会でも紹介いたしました。来月には、この学級旗にこめた思いを全校生で交流していくことにしています。

そして、自分と相手を常に意識し、温かな人間関係に基づく学級をベースとし、子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」を育成していくことで、小中一貫校においても自分らしさをしっかりと発揮し、新たな友だちとともに学び・生活することのできる「生きる力」をはぐくんでいきたいと考えています。

生き物とかかわる絶好の時期

生活科や理科の学習で学んでいる草花や野菜が日増しに成長している様子を観察し、「シシトウやミニトマトに大きな実がついているよ」「ヘチマの葉は2種類あって、色や手ざわりがちがうよ」等と言いながら、ワークシートに発見したことを書いている子どもたちの姿が、校庭の花壇で見られます。また、ビオトープをメダカでいっぱいにとしようと、教室にメダカを持ち込み、休み時間に水槽をのぞき込み、卵や子メダカを見つけて歓声をあげる姿が見られます。

動植物に対する子どもたちの思いを大切にしつつ、動植物にかかわる時間を確保し、新しい発見や生命のすばらしさ・巧みさについて話し合ったり、まとめたりする力を重視していくことがさらに求められています。ご家庭におきましても、自然とふれ合う機会や継続的な動植物の飼育・栽培の場をもっていただきたいと思います。自分で見たり・手で触ったりといった体験から学んだことは、子どもたちにしっかりと身につけていくといえます。

